

## 令和7年度 金光学園乳児保育園 保育士自己評価集計表及び園としての評価

常勤/非常勤 の別	人数	A 本園の職員として基本的な心構え																				B 子ども一人ひとりに対する理解と受け入れ																																		
		1					2					3					4					5					6					1					2					3					4									
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1										
常勤保育教諭	4人	1	2	1				3	1				3	1				1	3			3		1					3			1						3	1				3	1				1	3					3	1	
非常勤保育教諭	3人	1	2				1	2				2	1					2	1			2	1						1			2	1				1	2				1	2					2	1				1	2		
合計	7人	2	4	1	0	0	1	5	1	0	0	2	4	1	0	0	0	0	3	4	0	5	1	1	0	0	0	1	3	0	3	1	5	1	0	0	1	5	1	0	0	0	3	4	0	0	0	1	5	1	0					
園としての評価		1、5、6については全員が4～5を目標にしていけるように啓発する。特に5については5を目標にする。また、6については改善できるように個別に指導していく。2、3については引き続き継続していけると良い。4については配置を工夫し研修に可能な限り参加できるようにしていきたい。																				常に意識を持ち、振り返りの機会を設け、一人ひとりの子どもを大切に保育するために、職員間での共通理解を深めていく努力を行う。4については話し合いの機会を定期的に持ち、確認し合って保育することを目標にする。																																		

常勤/非常勤 の別	人数	C 遊びや生活を通じた人間関係の形成															D 職員間の連携															E 保護者の支援																			
		1					2					3					4					1					2					1					2														
		5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1										
常勤保育教諭	4人		2	2					3	1			2	2				3	1			1	2	1				2	2				2	2				3	1			3	1				2	1	1		
非常勤保育教諭	3人		2	1					3				3					3				3						3					1	2				2	1				2	1							
合計	7人	0	4	3	0	0	0	0	6	1	0	0	5	2	0	0	0	6	1	0	0	4	2	1	0	0	0	5	2	0	0	0	5	2	0	0	1	5	1	0	0	0	5	2	0	0	4	2	1	0	0
園としての評価		2については、引き続き時間の確保を検討していきたい。3、4については、子ども園園長や施設長がアドバイスをしたり、クラスを手伝うことで改善につなげたい。															どの項目においても全員3以上であることは評価できるが、全員5に近づけるように園と職員において努力が必要である。3については職員間での話し合いを通して確認し合いスムーズな連携が取れるように更に努めていく。															園児のより良い育ちを一番に考え、さらに良い関係が築いていけるようにしたい。																			

### ●自己評価項目

A 本園の職員として基本的な心構えをもっている	D 職員間の連携が取れている
1 気持ちの良い身だしなみ、明るい笑顔、挨拶を心がけ実行している	1 職員間でも明るい笑顔、挨拶を心がけている
2 自分の健康管理と情緒の安定を心がけ実施している	2 報告・連絡・相談がなされ、意思統一ができています
3 他の職員に対して、相手が不快に感じる態度をとっていない	3 それぞれの役割を理解し、適切な対応ができるように努めている
4 研修に参加したり専門書を読むなどして、自分の知識や技能の向上に努めている	4 お互いを補い協力し合うことを心がけ実施している
5 園に関わることにに関して一切他へ漏らしていない	E 保護者の支援に努めている
6 出勤は10分前を心がけ実施している	1 園や家庭での様子を伝え合う中で、子どもの育ちを保護者とともに考え喜び合うことができています
B 子ども一人ひとりに対する理解を深め、受け入れようと努めている	2 保護者には常に謙虚な気持ちをもって接している
1 子どもの思いを大切にしながら対応している	
2 子どもにわかりやすく温かな言葉遣いや穏やかな表情で接し、安心感を与えている	
3 制止や禁止の言葉を不用意に用いないようにしている	
4 子どもの年齢や発達段階、取り巻く環境に応じた援助や支援を行っている	
C 遊びや生活を通して人間関係が育つように配慮している	
1 年齢に応じた社会的ルールを身につけていくように配慮している	
2 子どもの意欲を高めるような遊びの準備・環境整備等、保育内容に配慮している	
3 トラブルの場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している	
4 子ども同士の関係を、より良くするような言葉掛けをしている	